

かなこれんNEWS VOL17号

発行：(一社)神奈川県子ども会連合会
編集責任者：神子連広報部長 宮野 利美
発行日：令和2年10月1日
<http://www.kodomo-kai.or.jp/kanagawa/>

神子連(かなこれん)とは、神奈川県内の各市町村の子ども会の集まりの組織です。
市町村だけでできないような、野外活動や、集団活動、研修活動など様々なイベントを行っています。

令和2年度定時総会報告 ～役員改選・新会長就任～

5月16日に予定されていた令和2年度定時総会は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出により書面での決議になりました。令和元年度の事業報告・決算報告ならびに役員改選について全会一致で承認されました。また山上武久会長が退任し新しく橋本輝夫会長が就任しました。

会長に就任して

一般社団法人神奈川県子ども会連合会
会長 橋本輝夫

日頃から、子ども会活動に多大なご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。令和2年5月16日の定時総会にて、山上会長の後任として(一社)神奈川県子ども会連合会の会長に就任いたしました。山上前会長同様によりしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大のために、子ども会活動が困難な状況ですが、活動の再開と子どもたちの成長や笑顔が見られる日を願っております。

社会環境・状況や考え方の変化に伴い、子ども会や子ども会活動にも変化が生じ、子ども会でも課題が取り上げられています。子どもたちは、学校、家庭、地域で育てられています。地域のなかでも子ども会が重要であることに変わりはありません。

長年、前会長山上武久様よりご指導いただいた多くのことを基に、子どもの立場を尊重し、子ども会関係者と協力して信頼関係をつくりながら、子どもたちの成長のために、子ども会発展と活性化に尽くす所存しております。なにとぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

素晴らしい仲間へ感謝

一般社団法人神奈川県子ども会連合会
前会長 山上武久

平成14年度より一般社団法人神奈川県子ども会連合会会長をさせていただき、市町村子連会長様はじめ役員・事務局様のご支援ご協力により大過なく任務を果たすことができました。一言では言い表せないほどの感謝でいっぱいです。

昭和39年より子ども会にどっぷりつかり、素晴らしい仲間と活動することができました。楽しい事業の思い出が走馬灯のように通りすぎてゆきます。

さいわい10年来副会長として活躍された橋本輝夫氏にバトンタッチすることができました。橋本氏は人格見識ともに高く、安全教育・組織運営にも通じておられ、本会の隆盛のために必ずやご尽力いただけることと存じます。

単位子ども会の伝統と時代に合わせた新たな活動展開と会員の安全教育と指導者のセーフティーガードである藤沢市子連が発祥の安全共済会制度を今後も大切に引き継ぎ、活気ある子ども会運営を期待申し上げます。

《令和2～3年度 神子連役員》

会長：橋本輝夫(県西) 副会長：天野健二(全県)・星野敏雄(県央)

理事：川端美千代(湘南東)・竹内房枝(湘南)・宮野利美(厚愛)・山上武久(全県)

小川茂子(全県)・小川陽子(全県)

監事：岩澤亜希子(湘南東)・越智明美(湘南)



* * * 令和元年度神奈川県子ども会連絡協議会永年功労者表彰 * * *

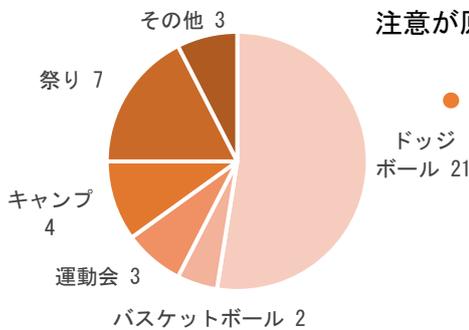
令和元年度神奈川県子ども会連絡協議会表彰が行われ神奈川県子ども会連合会からは下記の7名の方々と2つの団体が表彰されました。おめでとうございます。(敬称略)

石川聡之 (小田原市)・飯岡直美 (小田原市)・旗手 扶 (厚木市)・印南美智子 (厚木市)・今泉由里子 (厚木市)
 三田茂徳 (厚木市)・石澤ふじ枝 (厚木市)
 根岸元気子ども会 (横須賀市)・湘南山手池田町子ども会 (横須賀市)

令和元年度安全共済会医療共済金請求状況

令和元年度の医療共済金請求件数は40件でした。指導者・育成者の皆様の安全啓発意識をもった活動のおかげでかなり少ない件数となっています。一方で各市町村の小児医療費助成により窓口負担金がないので医療共済金の申請をしないというケースもあり、実際の事故件数はもう少し多いのではないかと考えられます。窓口負担金がなくとも健康保険を使って受診した場合は医療共済金の請求ができますので、事故が起きたときには安全共済会のご担当者を通じてまずはご一報ください。

活動別件数

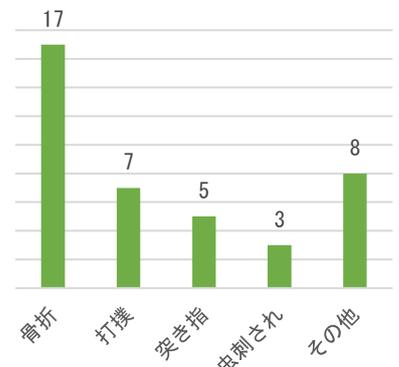


ドッジボールの試合や練習中にボールで指を負傷する事故が多くなっています。また、行事の休憩中や待機中に転倒したりなど、ちょっとした不注意が原因のものもありました。

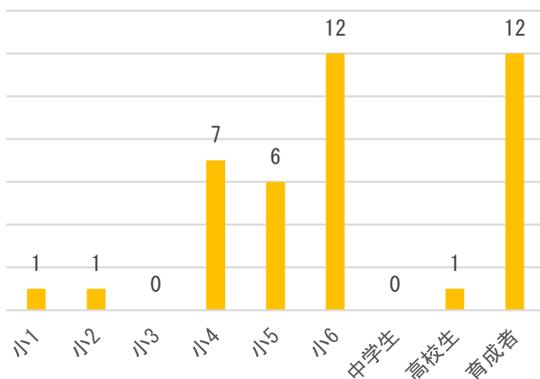


症状別件数

骨折が最も多く17件。その他は捻挫、火傷、腰痛・関節炎、角膜びらん、熱中症など。救急車を要請したケースもあります。



学年別件数



活動が活発になる小学校高学年が多くなっています。育成者の割合が30%を占めていますが、事故の多くは行事の準備や後片付け、付き添い時に起きています。お手伝いだけでも万が一に備えて安全共済会にご加入ください。